

企業スポーツと CSR の史的考察～歴史的変遷と課題について～

Historical study of corporate sports and CSR

About historical changes and issues

1K10C460-9 山本 潤
主査 原田宗彦 先生 副査 武藤泰明 先生

【目的】

本研究の目的は、①日本における企業スポーツ及び CSR（企業の社会的責任）の歴史的変遷を明らかにすること。②歴史的変遷から見出せる、現在の企業スポーツ現状と課題と CSR の現状と課題を明らかにすること。③現代における日本企業が衰退しつつある企業スポーツに求めているもの、そしてこれから求められるものを明らかにすることである。そして、今後の企業スポーツと CSR（企業の社会的責任）の研究の一助とすることである。

【方法】

本研究の方法は、書籍や過去の論文・先行研究を用いることで、企業スポーツと CSR（企業の社会的責任）に関する歴史的変遷や現状の把握を行う。企業スポーツと CSR（企業の社会的責任）の二つの軸を調べ、それを比較することで、時代ごとに企業スポーツと CSR（企業の社会的責任）に対して求められてきたことを明らかにする。

【結果】

当初、企業は企業スポーツに企業内部の福利厚生を目的として取り入れ、社員の人事労務管理を行った。そして、戦後にはマスメディアを利用した、広告宣伝として利用し、企業のイメージアップを図った。そして企業の一体感を醸成するものになった。バブル景気崩壊後、企業の業績悪化により企業スポーツから撤退する動きが見られた。さらなる理由として、企業スポーツ自体に企業内求心力・広告宣伝効果のメリットが薄れ始めたこともあった。そして、バブル崩壊後には企業のコーポレートガバナンスへの関心が高まることとなった。投資家経営の中で、企業スポーツは行き場を失うこととなった。そして、現在は企業のステークホルダーを意識した社会貢献・地域貢献に注目している。そして、1990 年代、企業スポーツにおいて新たな価値として CSR が注目されるようになった。社会的背景に合わせて企業スポーツチームを保有する理由を変化させていることが明らかになった。企業は企業スポーツを所有する新たな意味を模索していることがわかった。そして、企業スポーツチームは企業所有から地域支援への動きがあることがわかった。現在は地域連携した、企業に負担を強くないスポーツ体制が求められている。企業スポーツの価値向上に向けた取り組みの方向性の決定、運営体制、ステークホルダーの再検討が重要であることがわかった。現代の CSR の議論の発端

は、米国における企業の巨大化、社会的影響力が大きくなった 1920 年代であり、企業や国家のグローバル化が背景にあった。そして CSR は時代背景、社会問題、文化背景によって解釈が異なることが明らかになった。CSR は企業価値向上、競争優位のためという目的を持っており、企業経営戦略の一環である。CSR は日本において、1960～70 年代に公害問題をきっかけとして注目を浴び、2001～2003 年の企業不祥事から CSR という言葉が使われ始めた現在、CSR を企業価値の一つとする動きがあり、企業は CSR を考えることを余儀なくされている。現在の CSR というものを明らかにする必要があるということがわかった。企業スポーツに求められるものについて、企業スポーツを保有している企業のほとんどは、社会貢献・地域貢献が理由である。現在企業スポーツに求めているものは、地域密着体制を構築することで社会全体ではなく、地域という小さな単位で盛り上げていこうということが明らかになった。今後企業スポーツに求められるものは、地域という小さな単位で多くの地域を活性化することで、日本社会全体を活性化することであるということがわかった。

【考察】

CSR としての企業スポーツは、投資家を納得させ、企業スポーツを保有し続けるために落とし込んだものであり、社会貢献ではあるが CSR としては成立しないと考える。本研究で明らかになった通り、社会貢献と CSR の意味は異なるものであり、同じものと捉えることはできない。企業が企業スポーツを通じ、社会貢献をすることは成り立つと考える。しかし、CSR は、企業の競争強化の一環であるが、企業スポーツをその事業の一環にはならないと考える。しかし、企業スポーツ存続のための新たなシステムとして、地域と手を取り合い、スポーツチームを存続させること考えざるを得ない。地域と密着することで、企業戦略事業としてではなく、一つの社会貢献になる。あくまでも CSR としてでない社会貢献として成立すると考える。地方自治体と企業スポーツの積極的連携が、企業の社会貢献につながり、スポーツ支援ができると思う。